S.P.V news letter

発行／スペースパークボランティアの会 広報部会　〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1　TEL 024-936-0201　FAX 024-936-0089

S.P.V全体研修 鉄道博物館に行ってきました!!

街路樹の紅葉も美しい11月11日、「ボランティアの会　他館視察研修」として、埼玉県大宮の鉄道博物館を訪れました。昨年は震災の影響で中止になってしまいましたが、この全体研修は、会を構成する4グループが集い親睦を深める貴重な機会でもあります。

午前中は現地ボランティアの案内により、グループごとに施設見学を行い、昼食の特製弁当を楽しみました。また、午後からはボランティア同士の交流会が催され、時間を延長して活発な意見交換が行われました。

鉄道博物館を支えるボランティアの方々の熱意と誇りも素晴らしく、私たちにとっても自分たちの活動や意識を見つめ直す良い刺激となったように感じられます。

今回得られた知見を活かし、これからの活動を更に充実したものにしていきたいと思います。

（山田　善貴）

詳細
- 日　時：平成24年11月11日(日)
  午前6時30分：郡山駅前集合
  午後6時00分：同地解散
- 行 き 先：鉄道博物館（さいたま市大宮区大成町）
- 参加人数：スペースパークボランティアの会会員34名
- 内　　容：ボランティア活動の様子・施設見学、交流会

●全体研修に参加して

鉄道博物館（大宮）交流会でボランティアの活性化のポイントを学びました。

人と接して話すことは大変むずかしい！相手に心を感じれば、自分にも心があると思います。思いやり、気くばり、心づかいを自己啓発としたいです。

（関根　利栄）

●初めての「他館視察研修」IN鉄博

今回の他館視察研修で、鉄道博物館(略して鉄博)に行くことになり、初めて研修旅行に参加しました。僕が鉄博に行くのはこれで4度目ですが、鉄道ファンの僕にとって鉄博は何度行っても飽きません。

鉄博は、地元から全国までの鉄道ファンが集う場所でもあります。鉄博のボランティアの方と一緒に館内をまわるツアーに参加しました。そしてボランティアの方が、展示してある車両を判りやすく説明しているところを見て大変感動し勉強になりました。これからもふれあい科学館に来たお客様に喜ばれるようなボランティア活動をしていきたいと思っています。

（吉田　高廣）

●ボランティア研修に参加して

私は今回初めてボランティアとして参加させていただきました。朝の集合時間が気になり、前夜は2回3回と目が覚めてしまいました。

以前に鉄道博物館に行った方々から、それなりの話は伺っていましたが、実際自分で見たらそれ以上でした。

あの広大な敷地の中に、色々な展示車両が系統別に並べられている姿は驚きでした。それぞれの車両の年代別や特徴等、細部にわたる説明は、時間が無いと全部は読めない程でした。

ボランティア交流会での説明によると、会員数が約70名で活動しているとのことですが、計画的かつ熟知した会員を各パートに配属されている様子が伺えました。

館内の案内は三浦様でしたがやはりベテランの方で、何を聞かれても返答に困らない知識を身に付けていました。

最後ですが、私も、館内のお客様が満足できるような案内をと思います。

（今泉　敏明）

スペースパークボランティア募集！

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先：郡山市ふれあい科学館 管理課
TEL 024-936-0201

「案内サービスボランティア」活動報告

こおりやま保育所保護者会
ネットワーク　「もちつき大会」
場所：中田公民館

●好評だった皿まわし●

大変な大雪の翌日で、真っ白い雪景色の中を、中田公民館に向かう事となりました。

今回は、郡山保育所保護者会ネットワーク主催「第三回もちつき大会」子ども達との遊びを通じての、ボランティア参加でした。私は去年からの参加です。小さい子ども達との交流は、どんな発見や、出会いがまっているのでしょうか？

昔ながらのケンダマ、お手玉、だるま落とし、輪投げ、様々なおもちゃが、用意されています。私がはまったのは、皿回しでした。最初は全く出来ませんでした。気がついたら、子ども達より自分が遊びに無中になっていました。

ですが、ナルホド周りの男の子達、更にお父さん達も夢中でチャレンジしています。上手に出来るようになり、ドヤ顔の子もいます。

ボランティアに気負は必要ありません。自分も楽しい、だから自然に回りも楽しい！！

お昼には、杵でついた、お餅を頂きました。小さい子達が、お父さん、お母さんとお餅を食べている様子、こちらの心まで和みます。

最後に私たちボランティアの紙芝居です。達人から、ホヤホヤの読み手、それぞれが、自分を発揮しているそんな時間でした。実は私は、ドキドキだったかもしれません。

これでいいのかな？こうかな？来年はどんなかな？私にとって以前よりも、気負いが取れた、ボランティア参加でした。　（筧　寿美江）

●餅つきと昔懐かしい遊びの子ども正月●

1月27日(日)中田公民館で、こおりやま保育所保護者会ネットワーク主催の第3回餅つき大会が開かれました。広い広場の半分に莫蓙（ござ）やマットが敷かれて、お手玉・あやとり・けん玉・皿まわし・紙コップを糸でつないだ電話ごっこ等に約140人の親子が熱中しました。残り半分のスペースに、臼が数個用意され、きねで勢いよく音をたてて親子で餅つきを体験しました。

お昼につきたての餅を味わいました。

午後は和室で紙芝居、絵本読み聞かせ、手遊びを取り入れた掛け合いのお話などで子どもたち保護者たちと心のふれ合いをしました。

午前中の遊びで親しくなった子どもが、手遊びの時にかけ寄ってきて、小さな手で私の目、耳、鼻などをさわり、頬をつねってきました。そして「おばちゃんのほっぺた、ずい分かたいね。」と言われた時は、あまりの可愛さに、すっかり感動してしまいました。　（酒井　蓉子）

～「科学ボランティア」活動報告～

☆科学グループ出張活動　ウィンターフェスティバル

11/4はうすい通り中町商店街のウインターフェスティバルに出展しました。例年寒い、風が強いゆえ、部品が少なくすぐできる（でも科学的！）なものをと、ビー玉を軸にした「ベンハム」ごまを出しました。ただ白黒にプリントされた紙なのに、回して上から覗き込むと‥ぼんやりながら色付きカラーに見える！というものです。いまから100年以上も前におもちゃ作家のベンハム氏が考案したものの、未だに原理は明確でなく（おそらく目～脳の情報処理過程）。人によって見え方が違うし、写真にも写らない！不思議なものです。当日は隣の紙芝居、星座早見盤作りともども盛況でした。

（熊本　隆之）

☆科学グループ出張活動　西っ子クラブ

富田西公民館の場所が分からず迷子になって、滑り込みセーフのメンバーもいましたが、小学校1年～6年生の真剣な目が待ち構える中、定時に講座を開始しました。低学年の子どもたちからどう作るんですか？と次々に質問が出て、講師は大忙しでした。

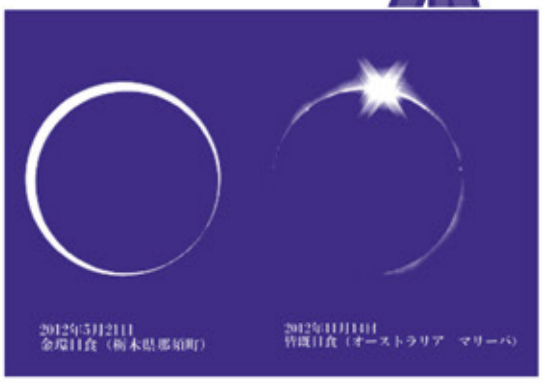
今回は4つの工作メニューを実施し、「ビー玉顕微鏡」では、ビー玉を新聞などに接眼したときと離した時では画像が反転するのにみんなびっくり。「分光万華鏡」では、紙コップを動かすと光が微妙に変化して、予想もしないきれいな虹模様ができるのに歓声が上がりました。「プラコプター」はプラスチックのコップを切るのに苦労しましたが、竹とんぼのように高く舞い上がって、飛ばし競争が始まりました。最後の「風船ロケット」では、完成するのを待ちかねて、早速飛ばし方に熱中する子どもたちで会場はお騒ぎになりました。風船の長さや羽根を付ける角度によって飛ぶ角度や距離が違ってくることを実感したようでした。最後にグループ分けをして、風船飛ばし競争をする予定でしたが時間切れで出来ず、残念でした。

ご父兄のご協力もあって無事終了できました。有難うございました。

（水沼　宏允）

「天文ボランティア」活動報告

（晴れ間を求めての押しかけ観望会？）



平成24年は天文現象の当たり年でした。

いわゆる三金の年でした。（平成24年の漢字も金）5月の金環日食に始まり、6月の金星の日面通過、8月の金星食と怒濤のように貴重な天文現象が続きました（極めつけはオーストラリアの皆既日食）。

ただ、天文現象は晴れていないと見ることができないという致命的な問題点があります。この三金の天文現象を郡山で見ようとすると、勝率は3敗と実に惨憺たるものでした。

そこで今回は、ネットの気象情報が実に役に立ちました。
パソコン片手に、雲の切れ間を探して、東西南北と実に良く移動しました。

そこで考えたことが一つあります。

今まで、天体観望会というと、まず場所を決めて人集めをする。これだと当日の天候に非常に左右されます。平成24年に郡山市で実施した観望会で、当日が晴れた日はわずかに数える程度で、ほとんど晴れなかったと記憶しています。

そこで、天文現象がある日や、だれもが親しみやすい月や土星などがきれいに見える時に、晴れている人が集まりそうな場所で、天体観望会を開催するのがいいのではないかと考えました。

今までの、晴れを待っての消極的観望会から、こちらから「晴れているところに行く」という積極的観望会がいいのではと、今回の天文現象の観望をとおして感じました。

現に、今回の三金天文現象は、どこの観測場所でも、望遠鏡をのぞいていると声をかけられたため、臨時の観望会を開催し大変好評でした！！

（齋藤　正一）

天ボラの知識の泉 35

●二つの太陽

10円玉に刻まれている宇治の平等院鳳凰堂、これが建てられた前の年の1054年5月中旬に牡牛座の右の角の先端にあった星が突然輝きを増し、木星ほどの明るさで9日間、東の空に見え人々を驚かせました。藤原定家の「明月記」の中にある記述で歴史に残る超新星爆発の貴重な記録です。

太陽の重さより8倍以上重い星は、内部で核融合の燃料となる物質を使い果たすと、星を支えていた圧力が下がり、重力（内側につぶれようとする力）が強くなってしまい中心部が一気に崩壊をし、突然大爆発をおこします。この大爆発が今まで見えなかったところに星のように光るので超新星といわれます。しかしそれは星の寿命の終焉を意味します。

冬を代表する星座、オリオンの右肩で「冬の大三角」のひとつベテルギウスは今まさにその運命にあるといわれています。赤色超巨星と呼ばれるこの星は直径が太陽の1,000倍で、太陽系に当てはめると地球や火星どころか木星までも覆われる大きさです。

そのベテルギウスがいろいろなデータから大きさが急減しているとか、表面が球形の態をなしていないなど爆発の兆候があると話題になっています。

もし爆発が起こったら－11等級の太陽がもう一つ約3ヶ月間地上を照らし、壮大な天体ショーとなりそうです。

ベテルギウスまでの距離は640光年、もうすでに爆発していてまだ地球までその光が届いていないのかもしれません。

（捧　　芳光）

内田博士の魂の叫び!! 27

『水戸黄門に想う』

水戸光圀が家臣の佐々木助三郎、渥美格之進、八兵衛、矢七、お銀とともに諸国漫遊の旅先で世直しをするという物語。矢七の存在はカッコ良い。前置きはさて置き、番組の終盤、悪人共との立回りもそこそこに"静まれ～ぃ！静まれ！静まれ～ぃ！ここにおわしますお方を誰と心得る！先の副将軍水戸光圀公にあらせられるぞ！ご老公の御前である！頭が高～い・・・（葵のご紋の印籠を出す）""はっは～っ！（一同臥拝）・・・"ここから、ご老公のお咎め。最後に、正直者故にチョイと魔が差してしまった貧乏人の夫婦がありがとうございます～。と涙を流す。～水戸老公とその一行の旅は続くのであった。（つづく）

何と言っても、"頭が高～ぃ"と印籠を出した瞬間、あの悪党共が一斉に怯み臥拝する姿に日常・世間・生活の中では味わうことの出来ない爽快感を覚えるのです。常に矛盾と妥協の中で生きて行かねばならない現実の中で、本来の欲求である物事の明快さを疑似体験出来るわけです。様々な情報が錯そうし、やり場のないときこそ、～♪人生楽ありゃ苦もあるさ♪～と声高らかに歌って行きたいものです。

スペースパークボランティアの会 ボランティア大募集

募集期間／2013年3月1日(金)～4月29日(月・祝)まで ※期間外でも随時募集しております。

郡山市ふれあい科学館の「スペースパークボランティアの会」では、「案内サービス」、「鉄道ジオラマ」、「科学」、「天文」のボランティアを大募集します。ぜひ、“みんなの科学館”で一緒に楽しみましょう!

応募条件

- 科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方。
- 15歳以上(中学生を除く)で健康な方。
  ※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- 無償で参加可能な方。
  ※昼食代、交通費等の支給はありません。

応募方法

募集チラシの応募ハガキに必要事項を記入し、郵送または、郡山市ふれあい科学館22階インフォメーションカウンターへご持参ください。

★詳しくは、下記までお問い合わせください。

今号のきら星★さん

鉄道ジオラマグループ　国分　辰夫さん

県内随一の高層ビルが郡山駅西口に建造され、内部には宇宙劇場と展示館及び鉄道ジオラマがある展望ロビーが出来上がり、開館されてからボランティア活動として参加して10年余の歳月が流れた事になります。振り返ってみるとそんなに長く活動したとも思えませんが、とにかく、地上100mからの眺めは最高であると、来館者の皆さんが感嘆して眺めて帰られたのは印象深いです。

活動日は、いつも同じとは限らず、その日によっては、全く予想もしなかった場面に逢う事もあります。

東日本大震災時には大変であったろうと思われましたが、話を聞いてみると意外と大丈夫であったとのこと。耐震構造の偉大さに驚かされました。

平日の館内は物静かです。学校、幼稚園等の子ども達が校外活動で入館されると急に賑やかになって活気付きます。展望ロビーに子ども達の声が無いと淋しいものです。

これからも大勢の方々が来館されるように願うものです。

S.P.V 活動情報(～6月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案内サービス **“昔懐かし”紙芝居**(約15分)
◇随時実演　☆展望ロビー(北)

鉄道ジオラマ **ジオラマショー案内**(約20分)
◇11:00～、15:00～、17:00～　☆展望ロビー(東)

科　学 **かんたん科学工作ほか**
◇土日祝 10:00～15:30　☆21階展示ゾーン入館者対象

天　文
天体観望会
◇4/20(土) 19:00～20:00　☆郡山駅西口駅前広場
◇5/18(土) 19:30～20:30　☆郡山駅西口駅前広場
◇6/15(土) 19:30～20:30　☆郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定　第37号6月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス **http://www.space-park.jp**

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集あとがき

(菅)今年は雪の多い年ですね?春よ来い!早く来い!
(国)今回の全体研修は、同種活動の関係もあり大変有効な研修であり大いに参考になった。
(山)想像を超えた感動を…!と意気込んで取り組んだ万華鏡作り☆つくづく奥深い世界だと思い知らされました!
(星)今年の楽しみは、2つの彗星☆明るく長い尾を見せてくれるかな・・・

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用 紙へリサイクル可
VEGETABLE OIL INK